

東北大学日本学国際共同大学院
平成30年度第2学期
「日本学メソドロジー基盤A」の履修登録について

「日本学メソドロジー基盤A」履修希望者は、今年度は文学研究科の授業科目となりますので、他部局開設科目履修届（用紙は、教務係にあります。）にて、10月15日（月）まで履修手続きをしてください。

【シラバス】

科目名:日本学メソドロジー基盤A／ Basic Methods in Japanese Studies A

曜日・講時:後期 火曜日 1講時 文学研究科棟 3F 視聴覚教室

セメスター:2学期, 単位数:2

担当教員:尾崎 彰宏(教授)

講義コード:LM22101, 科目ナンバリング:LAL-OAR502J, 使用言語:日本語

1. 授業題目:

東北大発の新領域「日本学」の形成に向けて

2. Course Title(授業題目):

Toward the new field "Japanese Studies" from Tohoku University

3. 授業の目的と概要:

今日、総じて人文社会科学に対する風あたりは厳しい。しかしネガティブにとらえる必要はかならずしもありません。それだけ人文社会科学に対する期待感があるのだと受けとめています。

日本学はこうした状況の中で現代の課題にどう向きあうのか、そのスタンスを問う研究です。つまり、今日の課題に即して、領域横断型のテーマを設定し、それに応えていく研究のことです。

日本学は読んで字のごとくですが、その内容は従来の日本研究と重なるところがある一方、一般には日本研究とは遠いと考えられていた西洋学も日本学に含まれるところがあります。ものの見方と捉え方などの方法において日本学の重要な要素となりうるのです。

では日本学とは何でしょうか。それはどのように形成される新領域なのでしょう。授業は、芸術を切り口にしたサンプル研究から考えてみます。

日本学のサンプルを提示した後、その理解に基づき、受講者に具体的なテーマに即したレポートを口頭発表してもらいます。

なお、この授業の受講は、2019年4月にスタートする日本学国際共同大学院プログラム選抜の要件になっています。

4. 学習の到達目標:

日本学について自力で考えられるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定:

日本学のサンプルを提示した後、その理解に基づき、受講者に具体的なテーマに即したレポートを口頭発表してもらいます。

詳細は初回講義時に指示します。

6. 成績評価方法:

レポートに基づき、口頭発表を行ってもらう。

その発表に基づき採点する。

7. 教科書および参考書:

参考書などは授業の折に提示する。

8. 授業時間外学習:

参考図書の読解、レポート作成など、かなりの勉強量が必要となります。

9. その他: